

たかねやま

多治見市立根本小学校

令和5年10月31日

No.8

～登下校の安全確認！通学班会で通学路を見直しました～

校長 横山 美智代

10月4日(水)に通学班会を開きました。今回の通学班会では保護者(地区委員や班会委員等)や地域の方(交通安全協会根本分会や交通安全見守りサポーター等の皆様)にも参加していただき、通学路の危険箇所はどんなところがあるのかを確認しました。ご協力ありがとうございました。

通学班会で危険箇所を確認した時には、車の出入りが多いところだけでなく雨が降った時や地震が発生した時の危険箇所など、子どもたちが気付いていないところまで教えていただいてハザードマップを作ることができました。11月の参観日には、今回作成したハザードマップを保護者と確認しながら登下校します。

これからも、自分や仲間の命を守って安全に登下校することを大切にしていきます。今後とも、子どもたちの登下校時に、地域の安全パトロールや、散歩しながら畑仕事しながらなどの「ながら見守り」等にご協力をよろしくお願い致します。



～令和5年度「全国学力・学習状況調査」本校6年生の結果について～

学力向上推進委員

今年の「全国学力・学習状況調査」の本校の結果は以下の通りです。本校でも調査結果の分析検証から、課題等を踏まえて授業等の指導改善を行ってまいります。

1 「学習」について

【国語の学習】

○原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる児童が多い。

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけることに弱さがある児童が多い。

【算数の学習】

○台形の意味や性質について理解している児童が多い。

●示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述することに弱さのある児童が多い。

【学習全般について】

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童がとて多い。(※本校が授業で取り入れている「協働的な学習」の成果だと考えられる。)

○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をよく使用している児童が多い。(※近年、本校が進めてきた「ICT機器の使用指導」の積み重ねの成果だと考えられる。)

●授業で学習したことが、将来、社会に出たときに役立つと思う児童が少ない。

(※「学習することの目的」について理解し、意欲的に「学び」向かうことができる指導が必要である。)

2 「生活」について

○「先生は、よいところを認めてくれている」と感じている児童が多い

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と考えている児童が多い。

●「将来の夢や目標」をもっている児童が少ない。☞※キャリア教育の充実を図る必要がある。

●「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童が少ない。☞※自己有用感を高める指導が必要である。

3 改善をめざした今後の指導について

上記の分析を基に、児童が「分かった」「できた」と実感して、学ぶ楽しさを味わうことのできる授業をめざして指導改善に取り組んでいきます。そのために、次の2点を行っていきます。

◇授業で課題解決に向けて、児童が自分なりの見通しをもち、学び方を自己選択しながら追究することができる学習活動を工夫していきます。

◇仲間と自分の考えを表現し合うために意図的な関わり合いの場を設けて、よりよい「学び」を生み出すための学習形態を工夫していきます。

今後とも、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。